

議員の賛否を公開します


上程された議案・概要	桐原 則雄	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	大塚龍一郎	佐藤 真二	豊瀬 和久	山本富一	山部 良二	三宮 美香	大塚 益雄	西川 秀貴	時松 智弘	田代 元氣	大村裕一郎	賛成 (○)	反対 (●)
特別職の職員等で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
一般会計歳入歳出決算の認定	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。
 ■賛否表 ○は賛成 ●は反対 棄は棄権 欠は欠席 早は早退
 その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会

議員の視点

(発言の一部を抜粋して掲載しています)



豊瀬 和久議員
 町営住宅が空き家なのに入居できなかったり、草刈り等の管理で地元住民にご迷惑をかけている。
 早急に修繕をするべきではないか。
 答 今回の補正予算で4戸の空き家の修繕を行う。その他の空き家に関しては長寿寿命化計画の中で検討する。

佐藤 真二議員
 保育園整備の設計変更がされているが変更の内容はどのようなものか。また、子ども・子育て支援計画との整合性は取れているのか。
 答 木造から鉄骨造りに設計変更をした。整合性はとれているが、現状と計画に乖離がみられるため、子ども・子育て会議における協議を踏まえ、見直しを行う予定。

永田 和彦議員
 修学旅行のキャンセル料について、契約内容や判断時期など負担を少なくするための見直しや改善の余地はあるのか。
 答 各学校でキャンセル料が発生するタイミングとキャンセル料の割合が異なる。情報を共有しながらキャンセル料が発生しないよう調整をしていきたい。

荒木 俊彦議員
 財産売り払い収入が計上されているが、財産の処分管理が適切に行われたのかについて監査の対象にならなかったのか。
 答 金額は議会で議決されているので監査としては支障なしと判断した。金額が妥当かどうかについては監査の権限ではない。

時松 智弘議員
 公立保育の再編検討委員の構成はどのような方々か。また、町の方針は園児数の減少から統廃合・廃止するのか人口流入に備え保持していくのか。
 答 子ども・子育て会議を中心として当事者である公立園の保護者の方や区長や民生委員等を交え検討する。方針についてはゼロベースで議論を進めていく。

山部 良二議員
 コロナ禍でストレスの感じ方が今までとは違うと思うが、教職員のストレスチェックで高いストレスがあった方への対応はどのようにしているのか。
 答 高ストレスの方が8%ほどいたが、高ストレスによる面談を希望される方はいなかった。

誰もが住みたくなるまちへ

大津町9月定例会を新型コロナウイルス感染症対策を行った上で9月6日から9月17日までの12日間の会期で開きました。

子育て世代包括支援センター設置に伴う支援事業などの新規事業や一般会計補正予算など20議案を審議し、可決しました。

令和2年度一般会計・特別会計などの8会計では審議の結果、すべての決算を認定しました。

一般質問には、11人が登壇しました。新型コロナウイルス感染症への対応として一般質問の時間を通常の60分から30分としています。

今回より本会議・一般質問共にライブ配信を始めており、録画配信も行っています。



歳入の状況過去5年ごとの推移

※歳入とは、大津町に入ってくるお金で、町民の皆さんが大津町に納める税金や国、県から交付される支出金などがあります。

決算について詳しくは
 広報おおつ11月号
 9~11ページ

項目	説明	令和2年度	平成27年度	平成22年度
自主財源	自主的に徴収できる財源 町税・使用料手数料・繰入金など	88億9,800万円 39%	68億9,800万円 49.5%	56億9,100万円 50.8%
依存財源	国から交付を受けたり、銀行などから借り入れる 交付金・国県支出金・町債など	140億5,400万円 61%	70億2,900万円 50.5%	55億1,300万円 49.2%
歳入総額		229億5,200万円	139億2,700万円	112億400万円

財政指標の推移

財政状況は県内他市町村と比べても良好です。
 財政力指数は県内45市町村では菊陽町に次いで2番目に高い数字でした。しかし、借金を抑え、さらに町民サービスを低下させないためには、財源の創出が不可欠です。

項目 (一言で言えば)	令和2年度	平成27年度	平成22年度
財政力指数(財政力)	0.77	0.70	0.91
経常収支比率(弾力性)	88.7%	82.7%	81.5%
実質公債費比率(借金割合)	8.0%	11.0%	12.8%
将来負担比率(財政圧迫度)	—	—	31.6%

1を超えると不交付団体
 70~80%が標準